



2025年12月24日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信  
(コード: 186A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘  
(TEL. 03-3626-0085)

## 英国連結子会社における欧州宇宙機関の軌道上改修・アップグレードサービスに関する 調査案件受注のお知らせ

当社の英国連結子会社である Astroscale Ltd (以下、ASUK) が、欧州宇宙機関 (European Space Agency、以下「ESA」) から軌道上改修・アップグレードサービス (In-Orbit Refurbishment and Upgrading Service、以下「IRUS」) の調査案件を受注したことをお知らせいたします。本受注は、2025年3月5日の「アストロスケール英国、BAE Systems と軌道上改修とアップグレード技術開発で循環型宇宙経済の基礎を築く」にてお知らせした調査の後続となる案件です。

当社グループではこれまで、軌道上サービス領域において、デブリ除去、寿命延長（燃料補給、軌道制御）、観測・点検といった各種サービスの受注実績がありますが、今回の IRUS に関する受注は、衛星の寿命延長に寄与する軌道上改修・アップグレードという新たなサービス領域での取組みとなります。本調査案件は、軌道上サービスのさらなる高度化と多様化に向けた重要なステップであり、将来的な事業領域の拡大に資するものと当社は位置づけております。

### 1. 受注内容

顧 客 : 欧州宇宙機関 (European Space Agency, ESA)

受 注 金 額 : 399 千ユーロ (税抜、73 百万円※1)

契 約 期 間 : 8か月間

サ ー ビ ス : 寿命延長（軌道上改修・機能向上サービス、IRUS）

（※1）2025年12月23日現在における為替レート（1ユーロ=184.46円）により換算。

本契約につきまして、2025年12月23日（英国時間）に合意決定のうえ締結いたしました。

### 2. IRUS の概要

IRUS とは、ESA の循環型経済戦略 (Circular Economy Strategy) に沿って、ASUK と BAE Systems plc (以下「BAE Systems」) が共同で提案した新しいミッション・コンセプトです。これまでに行われた初期研究では、ASUK の ELSA-M と COSMIC 衛星プラットフォームの要素を活用したサービサー衛星の設計に加え、軌道上改修・アップグレードのサービスを受けるために改変された BAE Systems の顧客衛星プラットフォームの開発が進められてきました。これらの成果を踏まえ、本プロジェクトをさらに進めるために、フェーズAの本調査案件の受注に至りました。今回の調査案件においては、ロボット技術とサービス技術を用いて、軌道上の既存衛星に安全に接続し機能向上を図る方法を検討し、劣化・旧式化したシステムの交換等による衛星の機能アップグレードや寿命延長が、技術的および商業的に実現可能か評価することを目的としています。

IRUS は、軌道上での組立てや製造、リサイクルといった長期的な目標達成に向けた軌道上サービスの前進につながり、燃料補給等の関連サービスにも大きな影響を与えることが期待されています。

### 3. 今後の見通し

本受注は、2026年4月期通期の連結業績予想の前提に含めておりませんが、2026年4月期連結業績予想

に与える影響は軽微です。

以上